

ひぜんだより

肥前精神医療センター総合情報誌

第11号



2012. 7

子ども外来がオープンしました

子ども外来医長 瀬口 康昌

◆肥前精神医療センター「子ども外来」について◆

「子ども外来」開設の背景

当院では、昭和57年の情動行動障害センター設置を機に児童精神科部門を立ち上げ、児童精神科外来と児童思春期病棟を開設しました。以来、当院では、他の医療機関での治療が難しい子どもや入院治療が必要な重症の子どもを中心に診療をおこなってきましたが、精神科を受診する子どもはそう多くなく、受診したとしても中学生以上の思春期年代の子どもがほとんどでした。そのため、子どもと大人の待ち合いスペースや診察室を分けることなく診療を継続してまいりました。

ところが、近年の傾向として、いじめ、ひきこもり、虐待、発達障害といった子どものメンタルヘルスに関連した問題が連日のように報道され、そのような問題に対する社会全体の関心が高まり、気付かれやすくなったこと、特に、平成19年度の特別支援教育の本格実施に伴い、保育や教育現場で発達の偏りや遅れが気付かれやすくなったこと、長引く不況やセーフティネットの弱体化、核家族化、価値観やライフスタイルの多様化等に関連し、一貫性のある安定した育児が保障されにくくなっていること、メンタルヘルスに関する問題について以前より気軽に相談できるようになったこと等が背景にあり、児童精神科外来では受診者の増加と低年齢化が顕著であり、特に就学前の子どもを受診が非常に増えてきておりました。

そこで、佐賀県地域医療再生計画からの補助を得て、待ち合いスペースを含めた児童精神科外来専用ゾーンを整備し、「子ども外来」を開設することとなりました。

「子ども外来」とは

不登校やひきこもり、対人関係のつまずき、気持ちや行動の調整の不器用さなど、現代の子ども達が抱える様々な行動や精神科的問題に対して、医療的支援をおこなう専門外来です。（対象年齢3歳～18歳）子どもの心や行動上の問題には、持って生まれた気質や発達の特性、環境要因、発達課題が複合的に関与していると考えられます。そのため、当外来では、医師と心理療法士、児童指導員などのコメディカルスタッフによるチームで診療にあたり、通常の医師による診察に加え各種心理検査や行動観察などをおこない、問題とされている行動と精神状態を多角的に評価します。

そして、医師による精神療法、家族ガイダンス、薬物療法、心理療法士や児童指導員による心理面接、プレイセラピーなどをおこないます。必要に応じてソーシャルワーカーも加わり、様々な社会資源も活用しながら、また、児童思春期病棟（つくし病棟）での入院治療もおこないながら、『その子どもらしい』育ちを包括的に支援します。

なお、当院で開発した、知的障害や注意欠如多動性障害（ADHD）をもつ子どもの養育者に対する行動療法的なペアレントトレーニングプログラム（肥前式親訓練プログラム、HPST: Hizen Parenting Skills Training）はその効果が検証されており、『お母さんの学習室』という名称で現在も継続的に施行しています。

また、不登校の子どもを対象として、①入院治療を現在の生活を変えるきっかけにする、②入院治療プログラムへの参加によって生活のリズムを整える、③入院中の活動を通して同年代の他者とともに過ごすことや関わりを持つ大人に対して肯定的なイメージをもてるようになること、を目的とした入院治療プログラム『つくし宿』も実施しています。

【初めての方へ】

「子ども外来」では、新規の方も含め原則『予約制』をとっております。まずは、受診相談係へお電話ください。

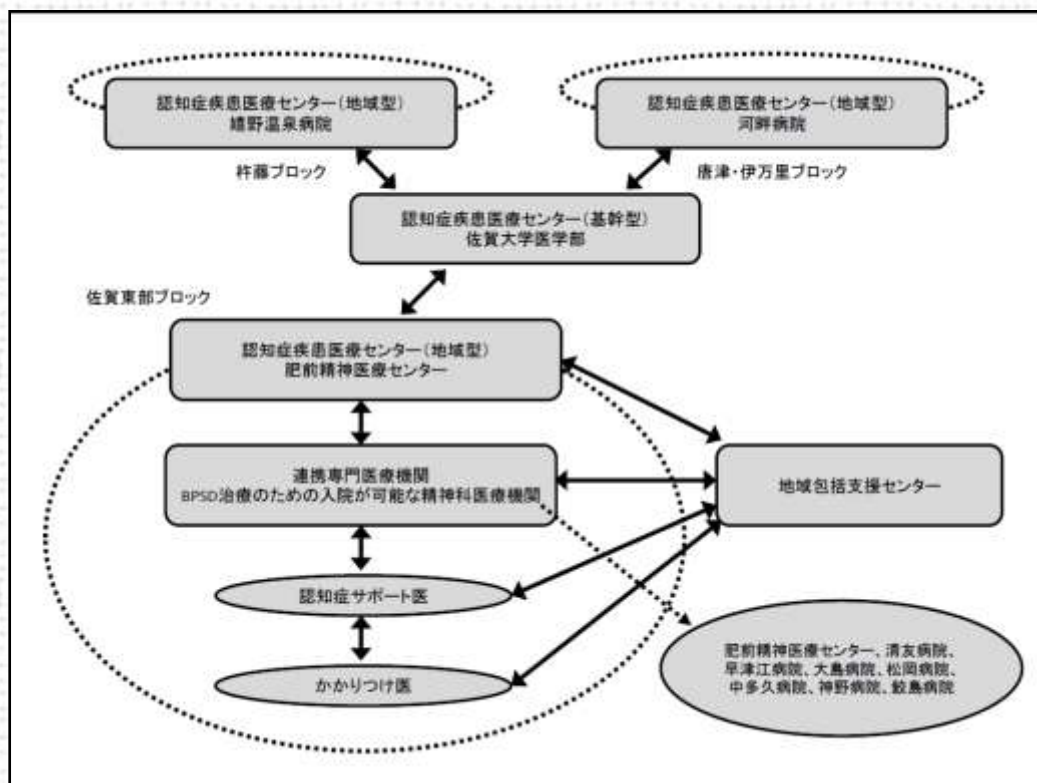
受診相談係（地域連携室） 電話 0952-52-3231（代表）



認知症疾患医療センター かかりつけ医研修会を開催しました

佐賀県では、平成23年12月1日から認知症疾患医療センター運営事業が開始されました。これは、佐賀大学病院を基幹型センターとして、佐賀県を唐津・伊万里ブロック、東部ブロック、杵藤ブロックの3つの地域に分け、かかりつけ医と地域型センター及び基幹型センターの連携により認知症疾患に対応していくとするもので、当院は、東部地域の地域型センターに指定されました。

その主な役割としては、地域包括支援センター等からの紹介に対して、早期に、しかもより専門的で高度の認知症疾患の診断サービスの提供や、かかりつけ医との連携強化及び研修会の実施、夜間・休日を含めた救急での入院患者の受け入れが期待されております。



この事業の一環として基幹型及び地域型センターは、かかりつけ医や高齢者施設の医療・介護等の業務従事者への研修会を実施することとなっており、当院では3月24日に院内の医師養成研修センターにおいて実施しました。

認知症疾患医療センター運営事業は、佐賀県では初めての事業であるため、現在既に当該事業が開始されている熊本県において、当院同様地域型医療センターの指定を受けている益城病院の犬飼院長先生を招いての研修会となりました。

犬飼先生からは認知症についての詳しい説明と、熊本県でのネットワークの現状及び将来計画をわかりやすく説明していただきました。

参加者は主に佐賀県東部地域から医師23名、その他91名、合計114名となっております。

(事務部長 仲地 善美)



平成23年度国際学会発表賞を受賞しました

この度、第108回日本精神神経学会学術総会が平成24年5月24日から26日に札幌で開催され、当学会より平成23年度国際学会発表賞という名誉ある賞を頂くことが出来ました。また、歴史ある「ひぜんだより」で授賞報告をさせて頂く話を頂き、大変嬉しく思います。

私は、平成23年7月に開催されたThe 3rd World Congress of Asian Psychiatry 2011(第3回アジア精神医学会総会)におきまして、災害精神医療ワークショップのシンポジストとして、「東北関東大震災における急性期災害精神医療の現状と今後の課題」を発表させて頂きました。

本発表では、震災支援で経験した診療を通じて現地の状況を報告し、災害時のシステムや医学教育における災害精神医療分野の見直しの必要性を講演しましたが、その時の内容を評価して頂き本当に嬉しく思います。

実際に、当シンポジウムでは各国の精神科医療従事者から多くの質問を受け、どの国もこの未曾有の震災に対して強く興味を抱いていることが伝わってきました。

私自身、「心のケアチーム佐賀県」の第一陣として被災地に派遣され、当院からも宮城県や岩手県へ震災支援を続けてまいりました。被災地に直接行かれた方も、被災地に行かなくとも派遣されている方の穴を埋めるために院内で働いていた方も、時には白熱した議論を交えて、色々な形で当院から震災支援に寄与されていたかと思います。

この賞は当然私だけの力で授賞することが出来たはずもなく、震災支援を通じた院内外の方々ののおかげであり、皆様には大変感謝しております。

震災から1年以上が経ちましたが震災復興へ向けての未解決問題は多くあり、少しでも早く被災地が復興できることを心より願っております。皆様には、今後も変わらぬご指導の程をどうぞ宜しくお願い致します。

(精神科医師 久我 弘典)



(表彰式の様子)



吉野ヶ里町健康福祉フェスタに参加しました

吉野ヶ里町では、毎年4月に健康福祉フェスタが行われており、当院としてもスタッフが地域に出て肥前精神医療センターのPRをし、病院を知ってもらうことでイメージアップを図るための絶好の機会であることから、これまで毎年参加しています。

今年も4月22日(日)の10:00～14:30の間でフェスタが開催されました。当院からも看護部、事務部、OT室、地域医療連携室、総勢20名で参加しました。

当院のブースの内容としては、次のとおりです。

チェックコーナーとして、アルコールパッチテスト、CoreAUDIT、認知症:トレールメイキングテスト、ゲームコーナーとしてボーリングゲーム、カルタ大会。

動物の着ぐるみを着ての会場外からの呼び込みや、風船配り等を行いました。

来場者数は以下のとおりです。

- ・アルコールパッチテスト 120名
- ・CoreAUDIT 56名
- ・トレールメイキングテスト 30名
- ・ゲームコーナー 180名

当日の天気は、予報では曇りのち雨(実際は晴れましたが)となっていたため、午後から来場者の出足が鈍り、健康福祉フェスタ全体では例年に比べ少なかったようですが、当院のブースは盛況でした。

(事務部長 仲地 善美)



「依存症治療としての ブリーフ・インターベンション」

解説者 精神科医長 遠藤 光一

＜はじめに＞

アルコール依存症に対する治療は、長らく長期収容の時代を経て、1963年に国立療養所久里浜病院（現久里浜医療センター）に「アルコール中毒特別病棟」が開設され、以降「久里浜方式」による治療が主流となっています。その大きな特徴は「断酒」を治療の目標としていることです。

＜多量飲酒者対策＞

近年、繰り返される飲酒運転による悲惨な事故や高血圧や糖尿病など生活習慣病の観点から、多量飲酒者に対する対策が大きく唱われはじめています。ここでいう多量飲酒者とは、純アルコールで60g/日以上飲酒する人のことです。日本酒に換算すると3合/日以上飲酒する人がこれに当てはまります。我が国に多量飲酒者は約860万人いるといわれています。現在このような人たちの飲酒量を低減させるための取り組みがはじめられています。これは言い換えれば「節酒治療」をおこなっているということになります。この節酒のためには、ブリーフ・インターベンション（Brief Intervention）が有効であるといわれています。

＜ブリーフ・インターベンションとは＞

ブリーフ・インターベンションは、1980年代よりWHO（世界保健機関）の多国間共同事業として開発、研究されてきたもので、海外では多数の研究報告がなされ、すでにその有効性は確立しています。エビデンスの蓄積を受けて、2004年に米国予防医療専門委員会（U. S. Preventive Services Task force: USPSTF）は、アルコール使用障害に対するスクリーニングとブリーフ・インターベンションを用いた早期介入に対して、臨床現場での実施を推奨するBランクの評価を与えています。

ブリーフ・インターベンションには定訳はありませんが、「簡易介入」、「短時間介入」と邦訳されることもあります。ブリーフという名の通り、通常は1つのセッションが5～30分間（多くは15分以内）で、2～3回の複数回のセッションで行われます。ブリーフ・インターベンションを簡単に言い換えると、「生活習慣の行動変容を目指す短時間の行動カウンセリング」で、そのおもな構成要素は「Feedback（フィードバック）」、「Advice（アドバイス）」、「Goal Setting（ゴール・セッティング）」です。

＜当院での取り組み＞

多量飲酒者に対する節酒指導としてのブリーフ・インターベンションは、当院の院長がおこなった研究でもその効果が実証されています。現在、当院では福岡病院など医療機関、（株）SUMCOなど職域でもブリーフ・インターベンションによる節酒指導をおこなっています。また、福岡市や佐賀県など自治体においても同様の介入をおこなっており、一定の効果を挙げています。

＜これからの依存症治療＞

このような状況を受け、現在、アルコール依存症に対する節酒治療が導入されつつあります。今までも節酒治療はいわれてはいたものの実際の導入にまでは至りませんでした。その大きな要因はわれわれ医療者に節酒させるための治療ツールがなかったからです。しかし、現在ブリーフ・インターベンションという大きな武器が手にはいりました。今からは依存症の治療はこれまでの断酒に代わって節酒が主流となるのかも知れません。と言っても全ての患者さんが節酒の対象になるわけではないと思われます。

恐らく、連続飲酒や離脱症状を認めない、いわゆる軽症の依存症の人を中心に節酒治療がおこなわれることになるのではないのでしょうか。また、逆に全く断酒ができない難治性の依存症の人にも当面の目標としての節酒治療が試みられるかもしれません。

＜HAPPYを用いた節酒指導＞

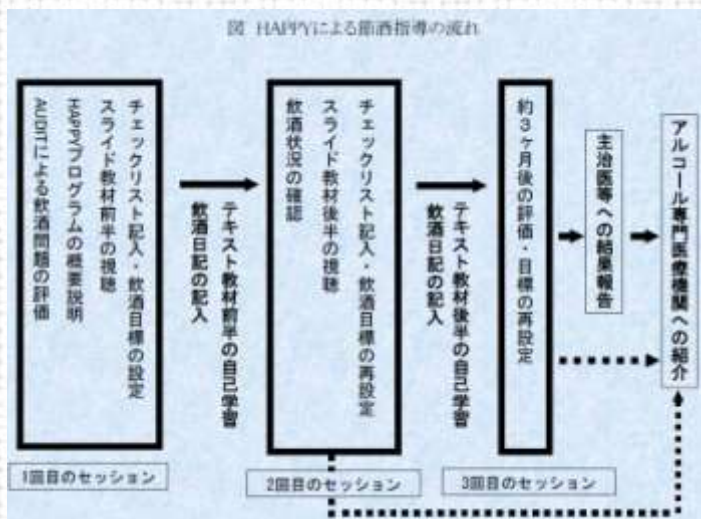
当院の院長は、アルコールが将来健康被害を引き起こす可能性の高い多量飲酒者、あるいはすでに健康被害が及んでいる多量飲酒者に対し、節酒を指導する早期介入パッケージHAPPY(Hizen Alcoholism Prevention Program by Yuzuriha)を早くも2001年に作成しています。AUDITを用いてアルコール関連障害の重症度を評価し、アルコールに関する医学的な知識を中心に作成された教育ビデオなどの補助教材やツールを用いた早期介入プログラムです。医療機関のみならず、職域や地域でも、専門的な知識のないコメディカルスタッフが、専門家がない場所でも比較的簡単に介入できるようにプログラム化されています。

このHAPPYは2001年に初版を作成以後、毎年最新のトピックスやデータを加えて改定版が作成されており、現在第10版となっています。HAPPYを用いる介入では、図に示すように通常3回のセッションを基本にしています。1回目と2回目は2～4週間の間隔で、教材を用いた教育、助言と節酒目標を取り上げながらの介入、3回目は2～3ヶ月間の間隔において、その間の飲酒状況の評価と目標の修正を行うことにしています。また、HAPPYによる介入は、ブリーフ・インターベンションの技法を基本にしていますが、1回目と2回目のセッションでは、約20分間のビデオ視聴が加わるため、1回のセッションに要する時間が40～50分間と通常のブリーフ・インターベンションよりやや長くなっています。先程も述べましたが、このような新しい治療ツールの開発が、依存症に対する節酒治療導入を大きく勢いづかせていることは確かです。

＜将来は？＞

現在、当院ではブリーフ・インターベンションやHAPPYの普及活動をおこなっています。当院での研修会の開催だけでなく、呼ばれればどこにでも出向き、現地にワークショップなどをおこなっています。この地道な普及活動は必ずいつの日か花開き、その時は従来の「久里浜方式」に代わり「肥前方式」が依存症治療の代名詞になっているのかも知れません。

図 HAPPYによる節酒指導の流れ



精神科医長 遠藤 光一

新人紹介 ◆New Face◆

1.配属先 2.出身地 3.趣味・特技 4.好きな言葉 5.肥前でやりたい事・実現したい事



児玉 英之(コタマ ヒデユキ)

1.医局 2.宮崎県 3.食べ歩き、温泉、カラオケ 4.特になし 5.皆さんと楽しくお仕事が出来たらと思います。



福山 順子(フクヤマ ジュンコ)

1.医局 2.愛媛県 3.読書 4.結果オーライ 5.育休からの1年ぶりの復帰なのでゆっくり仕事に慣れていきたいです。



飯田 仁志(イダ ヒトシ)

1.医局 2.福岡県 3.映画鑑賞、カラオケ、海外旅行、ギター 4.Stay hungry. Stay foolish. 5.肥前が有する全ての領域の患者を診る。臨床経験に基づいた論文を書く。



神谷 博章(カミヤ ヒロキ)

1.医局 2.愛知県 3.フットサル 4.特になし 5.臨床能力をしっかりと身につけ、精神科医として成長できたらと思っています。



菊川 弘樹(キクカワ ヒロキ)

1.医局 2.熊本県 3.音楽鑑賞 4.日本語 5.いろんな症例を勉強できれば良いです。宜しくお願いします。



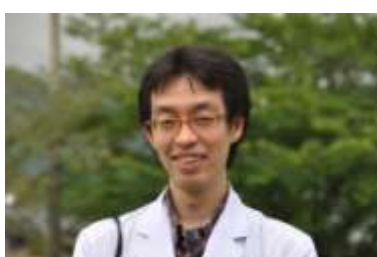
児玉 祥子(コタマ ショウコ)

1.医局 2.大分県 3.旅、音楽鑑賞 4.特になし 5.児童だけでなく成人の精神疾患も学んで吸収していきたいです。よろしくお願いします。



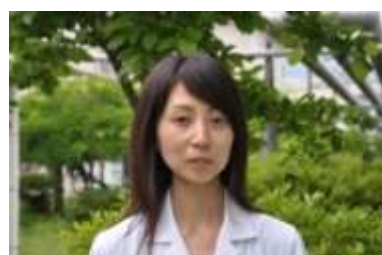
勢島 奏子(セジマ カナコ)

1.医局 2.福岡県(久留米・小倉) 3.ピアノ、マラソン、読書、旅 4.感恩、なぜベストを尽くさないのか 5.経験を深めること、佐賀弁をしゃべれるようになること。



西村 泰亮(ニシムラ タイスケ)

1.医局 2.神奈川県横浜市 3.音楽鑑賞 4.見たいと思う世界の変化にあなた自身がなりなさい(ガンジー)。 5.より良い診療が出来るよう、日々頑張っていきたいです。



藤巻 奈央子(フジマキ ナオコ)

1.医局 2.長崎県 3.旅行 4.特になし 5.臨床のスキルアップが出来たらと思います。



藤本 昌大(フジモト マサヒロ)

1.医局 2.福岡県田川市 3.動物をながめること、プログラミング言語、クイズゲーム 4.一期一会 5.精神科の基礎を身につけて、ここならではの多彩な症例を通してどういう医療をしていけばいいのか学んでいきたいと思っています。



岡本 宙(オカモト ヒロシ)

1.医局 2.東京都 3.楽器演奏、作曲、ウサギ飼育(というより鑑賞？ 世話は妻に任せっきりです...) 4.「1クールのレストランより、1回の伝説」(神埼出身 江頭2:50) 5.子どもさんからお年寄りまで、他の病院では経験できない沢山の出会いを通じて、精神科医として成長していければと思います。



山住 純二(ヤマズミ ジュンシ)

1.薬剤科 2.福岡県 3.釣り、スキー、ボクシング 4.人生は一度きり、悔いのない人生を！ 5.若手薬剤師が精神科薬物療法認定薬剤師と精神科専門薬剤師の資格取得が出来るようサポートすること。病院の管理者の一人として経営改善・向上に寄与すること。



後藤 史子(コトウ フミ)

1.薬剤科 2.佐賀県 3.バスケ、料理 4.一期一会 5.精神科領域の勉強頑張ります。



山本 佳代(ヤマモト カホ)

1.薬剤科 2.長崎県 3.料理、旅行 4.一言芳恩 5.患者さまへの服薬指導を通じて精神科領域を勉強していきたいと思います。



丹生谷 穂(ニフヤ ミル)

1.臨床検査科 2.熊本県 3.ツーリング、ラグビー観戦 4.感謝 5.信頼、安心できる検査室をめざしていきたい



菅我 節子(ソガ セツコ)

1.臨床検査科 2.佐賀県 3.旅行、車鑑賞 4.プラス思考 5.希望の施設に配属され嬉しいです。他部門とのコミュニケーションをとりながら仕事に努めたいと思います。



河上 勝美(カワカミ カズミ)

1.放射線科 2.熊本県宇土市 3.電気製品の分解(元に戻る可能性は極めて低い) 4.仁義 5.体調が崩れかけているので、少しでも若かりし頃の体調に模したい。



中野 良子(ナカノ ヨシコ)

1.作業療法室 2.山口県 3.旅行、散歩、読書 4.以心伝心 5.DC利用者もスタッフも笑ったり楽しめる“場”を1日のどこかに作っていただけること。



大野 淳子(オオノ ジュンコ)

1.療育指導室 2.佐賀県 3.旅行 4.笑顔 5.患者さんとの関わり方、行動療法、心理検査・・・いろいろなことを学び、患者さんに還元できればと思います。



小串 雪子(コグシ セツコ)

1.療育指導室 2.長崎県長崎市 3.いろいろな景色と見ること。家にいるときはマルチチズ3兄弟(カイ君、リク君、ハチ君)と遊んでいます。 4.人の一生は地球の瞬き 5.病棟のみなさんと笑顔で毎日を過ごす。M農園のイチゴ食べ放題に行きたい。



平石 愉香(ヒライシ ユカ)

1.療育指導室 2.福岡県筑後市 3.映画鑑賞(なかなか映画館には行きませんが) 4.くよくよしない 5.発達と障害で悩む人達の理解が出来たらと思っています



北村 渚(キタムラ ナギサ)

1.栄養管理室 2.長崎県 3.趣味:カラオケ 特技:剣道 4.一生懸命 5.初任地なのでまずはとにかく管理栄養士として一人前になること！！そして患者様に満足していただける食事提供を行ってきたいです！





辻 里美(ツジ サミ)

- 1.看護部 2.熊本県 3.映画鑑賞、温泉
- 4.一人は皆のために、皆は一人のために。
- 5.集合教育と現場における教育の連携を強化し、ケアの質の向上、人材育成・活用をはかっていきたいと思っています。



中川 光幸(ナカガワ ミツキ)

- 1.西七 2.福岡県 3.ゴルフ、剣道 4.何事も楽しく前向きに 5.医療観察法における看護を全国に発信したい。※でかすぎますかね？



山崎 珠美(ヤマサキ タマリ)

- 1.外来 2.福岡県八女市黒木町(出身校は肥前の看護学校です) 3.スポーツ観戦
- 4.特になし 5.精神看護を学びたいと思っています。



横田 研治(ヨコタ ケンジ)

- 1.東四ー1 2.佐賀県鳥栖市 3.写真、手話
- 4.知楽魚 5.患者さんが社会で暮らしやすくなるよう、いろいろな情報発信が出来たらと思っています。



永尾 勇(ナガオ イサム)

- 1.東一 2.福岡県築上郡 3.草野球
- 4.情熱 5.皆さんの足を引っ張らないように、早く仕事を覚えたい。



西村 彩(ニシムラ アヤ)

- 1.東一 2.佐賀県 3.お菓子作り、フットケア
- 4.ありがとう 5.患者さんの訴えの中にある伝えきれない思いをくみ取れるようにになりたい。



木本 章子(キモト ショウコ)

- 1.東二ー1 2.大分県 3.趣味:ドライブ、旅行、食べ歩き 特技:長距離運転
- 4.なんとかなるから大丈夫 5.入職したばかりで分からない事も多いですが、「子どものこころ診療拠点病院」が地域に浸透し早期発見・治療を行い、地域と連携して子どもの成長を促していきたいと思います。まずは様々な事を経験・学習し、自分自身成長していきたいと思っています。



長岡 大介(ナガオカ ダイスケ)

- 1.東二ー1 2.福岡県福岡市 3.映画鑑賞
- 4.雲海蒼天 5.小児・思春期病棟における看護者の役割を知ることができることです。



赤坂 山(アカサカ タカシ)

- 1.東二ー2 2.福岡県小郡市 3.音楽鑑賞
- 4.一日一善 5.患者様の異変を見抜く観察力



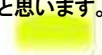
田中 幸道(タナカ コウメイ)

- 1.東二ー2 2.福岡県柳川市 3.うた、書道、カメラ(写真) 4.チームワーク 5.いちから精神科看護を学び、患者さんに癒しを与えられる看護師を目指します。また、患者さんと一緒にいろんなイベントにも参加していきたいです。



辻 健太郎(ツジ ケンタロウ)

- 1.東二ー2 2.佐賀県鳥栖市 3.サーフィン、釣り 4.努力 5.「寄り添う看護」を実践し、患者様からもスタッフの方からも信頼される看護師を目指していきたいと思っています。





川嶋 秀和(カワシマ ヒデカズ)

1.東三ー1 2.福岡県八女市 3.読書
4.なせばなる 5.患者様に喜んでもらえるよ
うな看護を行いたいです。



田中 淳(タナカ アツシ)

1.東四ー1 2.福岡県小郡市 3.バイクツーリ
ング、スキューバダイビング、散歩 4.石の
上にも三年 5.肥前で働くことで、自分が何
者であるか(自己の探求です)知りたい。



坂口 隼祐(サカグチ シュンスケ)

1.西ー 2.福岡県飯塚市 3.サッカー、
野球 4.人生は一度きり 5.色々あります！



中野 礼子(ナカノ レイコ)

1.西二 2.福岡県 3.おかし・パン作り
4.ゆっくり、のんびり 5.今から探していきます。



松竹 未樹(マツタケ ミキ)

1.東三ー1 2.長崎県諫早市 3.読書、
散歩 4.諦めない 5.患者様の心に寄
り添う看護を身に付け、個性のある
看護を行っていききたいと思います。



益永 耕太郎(マスナガ コウタロウ)

1.東四ー1 2.福岡県 3.体を動かすこと
4.努力するものは夢を語り、努力しないものは
不満を言う。 5.肥前の敷地内を一周する！



鶴 祐一郎(ツル ユウイチロウ)

1.西ー 2.福岡県 3.犬と遊ぶこと、旅行
4.特になし 5.精神科看護を学び、精神科
看護の専門看護師として、スキルを身に付
けていきたい。



森脇 幸一(モリワキ コウイチ)

1.西二 2.佐賀県 3.ドライブ、釣り 4.人生
一度 5.患者様に頼られる人になりたい。



川内 章寛(カワチ アキヒロ)

1.西三 2.佐賀県武雄市 3.バイク、車共にMTに乗
るのが好きです。サッカー、インラインスケート、ア
イスケート等もやります。 4.特になし 5.患者さ
んの居場所になれる看護師になる。



金丸 昌憲(カネマル マサヒロ)

1.東四ー1 2.福岡県 3.食べ歩き、バイク
4.Tomorrow is another day 5.特になし



宮原 美奈子(ミヤハラ ミナコ)

1.東四ー1 2.福岡県 3.買い物、バレーボ
ル 4.感謝 5.患者さんの思いを理解し、安
心される看護ができるようになりたいです。



本村 香奈(モトムラ カナ)

1.西ー 2.佐賀県 3.旅行、ピアノ
4.感謝 5.これまで一般科にいたため、
精神科看護について学びを深めたい。



八代 育美(ヤツシロ イクミ)

1.西二 2.福岡県 3.愛犬とゴロゴロすること
4.癒し 5.早く勤務に慣れ、精神科看護師と
してやりたいことや進む道を見つきたい。



田中 憲太郎(タナカ ケンタロウ)

1.西三 2.長崎県 3.旅行、ドライブ
4.特になし 5.多くの患者さんと実際に触れ合いながらいろいろな経験をしたい。



波東 美佐(ハトウ ミサ)

1.西三 2.鹿児島県 3.国内1人旅行、お城やお寺めぐり、カラオケ 4.明日は明日の風が吹く 5.研修に積極的に参加し、精神科看護を極めたいです。



井上 翼(イノウエ ツバサ)

1.西五 2.福岡県三猪郡大木町 3.食べること、硬式テニス 4.「笑」 5.先輩スタッフの動きを見て、聞いて、考えながら、1つずつ仕事を覚えていきたい。



松崎 進也(マツザキ シンヤ)

1.西五 2.福岡県 3.ドライブ 4.地道
5.日精看護認定看護師取得



江崎 友理(エサキ ユリ)

1.西七 2.熊本県 3.趣味:ドライブ、ピーチコーミング 特技:手芸 4.全ての事には意味がある。 5.自分も患者さんも双方が納得できる医療の提供。



熊丸 誠一(クママル セイイチ)

1.西七 2.佐賀県 3.ゴルフ 4.絆 5.信頼を築けるように責任感を大切に頑張ります。



行武 智昭(ユクタケ トモアキ)

1.西七 2.佐賀県 3.ゴルフ 4.不言実行
5.信頼される看護師になりたい。



郷原 晴治(コウハラ セイジ)

1.管理課 2.熊本県菊池市 3.ドライブ
4.情けは人のためならず 5.楽しい職場をつくりたい。



瀧上 晋(フナガミ ススム)

1.経営企画室(医事) 2.長崎県 ※家族を長崎に残し出稼ぎ中… 3.趣味:特になし 特技:どこでも寝れること(仕事中に居眠りしても、目が細いため気付かれない…と思ってるのは本人だけ?) 4.てきとおー(力を抜いて…という意) 5.Next肥前(病棟建替/電子カルテ導入)…肥前療養所から肥前精神医療センターへ



合戸 有介(ゴウト ユウスケ)

1.企画課 2.福岡県久留米市 3.ゴルフ(今は行けてませんが…) 4.棚からぼたもち 5.新病棟等建替整備工事において、出来る限り皆さんのご期待に添えるよう努めさせていただきますので、宜しくお願いいたします。



小宮 正照(コミヤ マサテル)

1.経営企画室(医事) 2.福岡県糸島市 3.洋楽鑑賞(‘70や’80年代ポップスが大好きです 4.興味を持ったら、即実行。 5.多くの職員の方とコミュニケーションがとれるよう顔を覚えてもらい、覚えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



大庭 直樹(オオバ ナオキ)

1.管理課 2.福岡県飯塚市 3.クラシック音楽鑑賞 4.ありがとう 5.佐賀弁をマスターする。

吉野ヶ里の名所 ◆ 櫛田宮 ◆

今回は、平清盛で有名な、神埼の櫛田宮を紹介をします。

国道34号線沿い、神埼市役所と神埼警察署のそばにあります。櫛田宮について、櫛宜(ねぎ)さんにお話を伺いました。

(取材班) まず、櫛田宮と平清盛の関係について教えていただけますか？

(櫛 宜) 神社には平清盛との関係を示す書物は残されていません。しかし、平清盛は佐賀で大官をしており貿易を行っていました。そこでつながりがあったのではないかとされています。

(取材班) 山笠で有名な博多の櫛田神社との関係について教えていただけますか？

(櫛 宜) 「博多山笠記録」にも、神埼が本家で博多は分家との説が紹介されています。神埼は田舎であってもその昔は現在の神崎市・吉野ヶ里町のほぼ全域と、上峰町・みやき町の一部は荘園の時代が長く続きました。しかも皇室領のため「神埼御庄」と尊び称され、正応5年(1292)の頃には約3000町歩の大荘園でした。九州治乱記にも「其の神領北は山内藤の原を限り、南は海際崎村まで、東は米田原、西は尾崎まで、分量数千町、是を名付けて神埼の御庄という」とあります。当時の中国(宋)との密貿易も盛んに行われ、有明海から神埼の荘園にも迎え入れました。神埼では中国の陶磁器類も多数出土しています。この荘園を実質治め巨利を独占したのが平正盛・平忠盛であり、その子の平清盛が平家全盛の時代を迎える財政的な基を神埼の地で築いたのです。その貿易品や年貢米の積み出し港である博多に分社をつくり、櫛田大明神の御加護を祈ったという説が通説となっています。

(取材班) テレビ取材等も多いようですが、何かエピソードはありますか？

(櫛 宜) 日本テレビの鉄腕ダッシュの取材がきました。その時は平清盛の取材ではなく、ご神木願い事についての取材がありました。ご神木「琴の楠(くす)」。“息を止めてこの木の周りを7周半回ると願いがかなう”と言われています。もともとは「櫛田宮を創建した景行天皇が、琴を埋めたところから芽がでて楠になった。清浄な人がこの古木の周囲を呼吸を止めて7回半回れば琴の音色が聞こえ、願いがかなう」という言い伝えからのようです。

(取材:梅山、川口)



これぞ1枚! シャッターチャンス!! ◆Photo◆

ペガサス棟にアライグマ参上!!

6月初旬、ペガサス棟スタッフより、「天井裏からガタガタと音がする、動物が迷い込んでいるかも」との連絡がありました。現場に赴き天井裏を覗いてみる、なんとそこにいたのはアライグマでした。箱ワナ(金属製の檻に餌を入れ、中に入ると入口の扉が閉まり、外に出られなくなる仕掛け)を設置したところ、2匹のアライグマの捕獲に成功しました。

アライグマは見た目は大変可愛いらしいのですが、近年、農業被害、生活環境被害、生態系被害といった様々な問題を引き起こしており、佐賀県でも問題になっているそうです。結局この2匹のアライグマ達は吉野ヶ里町役場の職員の方に引き取られました。(庶務係長 大庭 直樹)



(天井裏の様子)



(捕獲後)



目 次

- P.1 子ども外来がオープンしました
- P.2 認知症疾患医療センターかかりつけ医研修会を開催しました
- P.3 平成23年度国際学会発表賞を受賞しました
- P.4 吉野ヶ里町健康福祉フェスタに参加しました
- P.5-6 精神疾患がよくわかるシリーズ
「依存症治療としてのブリーフ・インターベンション」
- P.7-11 新任者＆新人紹介
- P.12 吉野ヶ里の名所「櫛田宮」
これぞ1枚！シャッターチャンス！！

◆編集後記◆

長かった梅雨もようやく明け、夏本番を迎えました。今年は電力不足が深刻な問題となっていますが、国民一人一人が節電の意識を持ち、この困難を乗り越えなければなりません。ほんの少しの心がけが、きっと大きな実を結ぶはずです。当院では「節電行動計画」を策定し節電に取り組んでいます！

(庶務係長 大庭 直樹)



患者様の権利

- 1.安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利
- 2.疾患の治療等に必要の情報得、また教育を受ける権利
- 3.治療法を自由に選択し、決定する権利
- 4.プライバシーが守られる権利
- 5.常に人としての尊厳を守られる権利
- 6.医療上の苦情を申し立てる権利
- 7.継続して一貫した医療を受ける権利
- 8.QOLや生活背景に配慮された医療を受ける権利



平成24年7月31日発行

編集・発行：肥前総合情報誌編集委員会(橋本(喜)、仲地、櫻井、城島、郷原、山口、大庭、梅山、辻(里)、川口(亜)、天野、豊留、平石(倫)、久我、太田、宮下)

発行所：独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター